

令和8年度長久手市平成こども塾事業方針

1 事業方針

「長久手市平成こども塾マスタープラン」に定められた「平成こども塾の意義と基本理念」に基づいて、この事業方針を策定します。

平成こども塾は、長久手市の今も多くの緑が残されている田園環境の中で、子どもたちが歴史、文化、自然環境を生かした体験活動を通じて豊かな心や自ら学び自ら考える力などを培うとともに、関わりを持つ地域の人たちとの交流から生きる力を育むことができるように事業を実施していきます。

2 主要事業

(1) 平成こども塾体験学習事業(別添「プログラム年間事業計画」参照)

ア 学校連携プログラムの企画と実施

イ 平成こども塾プログラム(自主プログラム)の企画と実施

ウ 専門プログラム(委託事業)の企画と実施

エ 平成こども塾サポート隊プログラム(委託事業)の企画と実施

3 令和8年度事業計画

(1) 平成こども塾体験学習事業

子ども達が地域の歴史、文化、食等に触れる機会と、多世代にふれあえる場を、プログラムの実施により創出します。

また、多世代交流に係る平成こども塾体験学習事業に関わる講師やボランティアの充実を図るため、学校連携講師及び平成こども塾サポート隊員を確保(目標3人)するとともに、近年の加入者の定着を目指します。

ア 学校連携プログラム(72回予定)

市立小学校に通う児童が6年間に3回、かまどを使った飯盒炊さんやおこしもの、餅つき等のプログラムで長久手の歴史、文化、食、自然環境等を体験するとともに、講師やボランティアである大人を通じ、多世代との交流を図ります。

イ 平成こども塾プログラム(自主プログラム)(10回予定)

友好提携都市や環境団体、大学などと連携し、広い視点で自然や文化を体験するプログラムを企画し実施します。

令和8年度は、昨年度に引き続き愛知県立芸術大学と協働した陶磁プログラムや、本市の友好都市である長野県南木曾町での自然体験などを予定しています。

ウ 専門プログラム施(18回予定)

1年間を通して、ものづくりや自然観察などを、より専門的に体験する会員制プログラムです。

令和8年度は、3事業者による、ものづくり系1種と自然系2種の委託プログラムを実施します。

エ 平成こども塾サポート隊プログラム

(95回予定、うち4回は天候による中止等の予備分を含む)

地域のボランティア主体で「平成こども塾サポート隊」を組織し、テーマ別のグループが講師として、または外部講師を招き、体験プログラムを実施します。

こどもファームを担う「食と農」班、里山散策やホタル観賞会の「自然観察・体験」班、木工や書道などものづくりを担当する「創作」班があります。